

令和4年度行政事業レビューシート (金融庁)

事業名	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 拠出金等			担当部局庁	総合政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室	鳩間 正也	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	『未来投資戦略2017』(平成29年6月9日閣議決定) 『未来投資戦略2018』(平成30年6月15日閣議決定) 『成長戦略フォローアップ・令和元年度革新的事業活動に関する実行計画』(令和元年6月21日閣議決定) 『令和2年度革新的事業活動に関する実行計画』(令和2年7月17日閣議決定) 『新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ』(令和4年6月7日閣議決定)		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多国間の監査協力ネットワークの拠点として我が国の国際的なプレゼンスを高め、監査品質の維持・向上に向けた国際的な協力関係の構築・充実に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国に本部である事務局を置く、初の金融関係国際機関である監査監督機関国際フォーラム(IFIAR)に対し、同事務局の円滑な運営に向け、ホスト国として必要な支援を行う。また、我が国で開催する代表理事会等の国際会議を同事務局と共に円滑に運営するため、ホスト国として必要な支援を行う。						
実施方法	その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	93	92	100	101	111
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	5	-	-	
		計	93	97	100	101	111
	執行額		92	97	98		
	執行率 (%)		99%	100%	98%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		99%	105%	98%		
	令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由	
監査監督機関国際フォーラム拠出金		99	99	○令和6年4月に日本において開催予定のIFIAR本会合等について、開催国として運営経費等の支援を行っていくため。(監査監督機関国際フォーラム本会合等開催庁費:+ 10百万円)			
監査監督機関国際フォーラム本会合等開催庁費		-	10				
庁費		2	2				
職員旅費		-	0.4				
計		101	111				

活動内容 (アクティビティ)		監査監督機関国際フォーラム(IFIAR)に対し、IFIAR事務局という国際機関の円滑な運営を通じ、ホスト国として必要な支援を行う。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
		IFIAR事務局の円滑な運営	事務局招致国としての責務に係る拠出金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
		監査監督機関国際フォーラム拠出金／事務局の数		単位当たりコスト	百万円	92	92	98	-		
				計算式	拠出金額／事務局が日本にあること(1)		92/1	92/1	98/1	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
		IFIAR事務局が円滑に運営されること	代表理事会の年間開催回数	成果実績	回	3	5	5	-	-	
				目標値	回	3	5	5	5	-	
				達成度	%	100	100	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		内部資料									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
		金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会への参加回数	成果実績	回	3	5	5	-	-	
				目標値	回	3	5	5	5	-	
				達成度	%	100	100	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		内部資料									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
		IFIARにおける議論を国内に対し積極的に発信する	IFIARネットワーク会議開催回数及びIFIARに関するウェブサイト掲載回数等	成果実績	回	5	5	5	-	-	
				目標値	回	3	3	3	3	-	
				達成度	%	166	166	166	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		内部資料、金融庁ウェブサイト									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
		IFIAR事務局の円滑な運営	IFIAR事務局への職員派遣数	活動実績	人	1	1	1	-	-	
				当初見込み	人	1	1	1	1	1	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
		IFIAR事務局において金融庁職員が勤務すること	IFIARにおける金融庁職員数	成果実績	人	1	1	1	-	-	
				目標値	人	1	1	1	1	-	
				達成度	%	100	100	100	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		内部資料									
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度	
		(参考指標) IFIARにおける日本人職員数	実績	人	3	3	3	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-		

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	代表理事会及び関連会合の円滑な開催	代表理事会及び関連会合のホスト回数	活動実績	回	0	0	0	-	-
			当初見込み	回	1	0	1	1	1
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	監査監督機関国際フォーラム会議開催庁費／会議ホスト回数		単位当たりコスト	百万円	1	1	2	2	
			計算式	会議開催庁費／会議ホスト回数	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 年度
	金融に関する国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	代表理事会及び関連会合のホスト回数	成果実績	回	0	0	0	-	-
			目標値	回	1	1	1	1	-
			達成度	%	0	0	0	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	内部資料								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策							
		施策	政策評価書URL						
	新経済・財政再生計画 2021 取組事項		分野:	-					
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:						
			該当箇所						
事業所管部局による点検・改善									
国費投入の必要性	項 目				評 価	評価に関する説明			
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	『令和2年度革新的事業活動に関する実行計画(令和2年7月17日閣議決定)』における「東京国際金融センター構想の推進」に向けた取組みの一環であり、我が国の国際的なプレゼンスを高め、また東京の国際金融センターとしての地位を向上させると考えられ、国民や社会のニーズを反映していると考え。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	IFIARは各国の監査監督当局が参加する国際機関であり、日本からは金融庁及び公認会計士・監査審査会が参加している。また、IFIARでは、監査品質の維持・向上に向けた各国監査監督当局の国際的な協力関係の構築・充実に資する活動が行われている。以上のことから、地方自治体や民間等に委ねることができない事業であると考え。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	IFIAR事務局という国際機関の円滑な運営に向け、ホスト国として必要な支援を行うとともに、代表理事会等国際会議の円滑な運営を行うことは、我が国の国際的なプレゼンスを高め、監査品質の維持・向上に向けた国際的な協力関係の構築・充実に資するため、必要かつ適切な事業であると考え。 また、『令和2年度革新的事業活動に関する実行計画(令和2年7月17日閣議決定)』において「東京国際金融センター構想の推進」に向けた取組みの一環として明記されており、優先度の高い事業であると考え。			

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-	事務局ホスト国としての責務に係る拠出金としての性質上、競争の余地はない。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	IFIAR事務局の円滑な運営に向け、ホスト国として必要な支援を行うとともに、代表理事会等国際会議の円滑な運営を行うという本事業は、我が国の国際的なプレゼンスを高め、監査品質の維持・向上に向けた国際的な協力関係の構築・充実に資するためのものであり、国民全体の利益に資すると考えられるため、国費負担は妥当と考える。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	IFIAR代表理事会開催経費は、過去に行われた類似規模の国際会議開催経費を参照する等十分な検討がなされており、妥当な水準と考える。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	IFIARの予算について、全加盟国による予算承認手続きが行われるほか、事務局から会計報告が行われており、費目・使途は真に必要なものに限定されていると考える。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				-	-
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）				-	-
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	事務局ホスト国としての責務に係る拠出金を適切に支出し、IFIAR事務局の円滑な運営を実現しており、目標に見合った実績をあげていると考える。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	事務局ホスト国としての責務に係る拠出金を適切に支出して事務局の円滑な運営を支援している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）				-	-
	事業番号			事業名		
点検・改善結果	点検結果	○ IFIAR事務局のホスト国として、円滑な運営に向けた支援のための拠出金を適切に支出している。 ○ 我が国の国際的なプレゼンスを高め、東京の国際金融センターとしての地位を向上させるため、IFIAR代表理事会への参加（令和3年度：5回開催中5回）を通じて、監査品質の維持・向上に向けた議論に積極的に貢献している。 ○ 成果・活動の指標及び実績の代表理事会及び関連会合のホスト回数について、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての会議がオンライン開催となったため、ホスト回数が0回となった。 ○ 費用の支出や国際会議への参加に加え、令和3年4月以降はIFIAR副議長を当庁の職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導し、日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献した。				
	改善の方向性	○ 我が国に拠点を置くIFIARの副議長国として、IFIARの組織運営を積極的に主導することにより、我が国の国際的なプレゼンスを高めるとともに、グローバルな監査品質の向上に関する議論や監査監督当局の国際的な協力関係の構築・充実に貢献する。 ○ 代表理事会のメンバーとして、本会合・代表理事会等の国際会議への参加を通じ、IFIARの運営に関する議論に積極的に関与するとともに、事務局の円滑な運営のため、ホスト国として必要な支援を引き続き行っていく。 ○ IFIARの活動を広く国民に周知するため、ウェブサイトへの情報掲載や、国内における監査のステークホルダーからなる「日本IFIARネットワーク」等を活用し、監査品質の向上に向けたIFIARにおける議論を積極的に国内に発信する。				
外部有識者の所見						
○ 本事業に関して、グローバルな監査品質の向上という事業目的に一層貢献するよう、会計士をはじめ関係者に対する情報発信をさらに積極的に行ってはどうか。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	○今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査すること。 ○外部有識者の所見を踏まえ、関係者に対する情報発信について検討していくこと。 ○引き続き、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	○本事業の目的を実現するために、IFIARとの協力と貢献に関する合意（ホスト合意）に基づき、IFIAR事務局のホスト国として、引き続き必要な資金支援を行うとともに、IFIARの代表理事国及び副議長国として、監査品質の向上に関する国際的な議論において主導的な役割を果たしていく。 ○本経費については、IFIARの会計報告を通して資金使途の適切性及び有効性を確認し、適切な場合にはIFIARにより効率的かつ効果的な組織運営を求めていくこととしつつ、令和5年度においては、令和6年4月に日本で開催予定のIFIAR本会合等の開催に必要な経費の一部を令和5年度予算の要望額として要求するため、前年比10百万円の増額となる予算要求を行っていく。 ○関係者に対する情報発信については、当庁ウェブサイトへの情報掲載、国内における監査のステークホルダーからなる日本IFIARネットワークの活用、寄稿・講演、日本での対面会合の開催の機会を活用した意見交換等を通じ、積極的に行っていく。					
備考						

関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年度	-					
平成24年度	-					
平成25年度	-					
平成26年度	-					
平成27年度	新28-0004					
平成28年度	20					
平成29年度	0013					
平成30年度	20					
令和元年度	金融庁	-	0021			
令和2年度	金融庁		0021			
令和3年度	2021	金融	20	0025		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

金融庁
98百万円

(・監査監督機関国際フォーラムへの拠出)

↓

A. (一社) 監査監督機関国際フォーラム (IFIAR)
98百万円

(監査品質の維持・向上に向けた
各国監査監督当局の国際的な協力関係の構築・充実に目的とした活動)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 一般社団法人 監査監督機関国際フォーラム (IFIAR)			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事務運営費	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 事務運営費	98	-	-	-
	計		98	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人監査監督機関国際フォーラム	6010005026240	拠出金	98	その他	-	-	-